

授業科目	＊ 専門演習Ⅱ（林）					単位	2		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO31805J		
開講年次	3 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2				
担当教員	林 裕二								
授業概要	輪読をします。 最初に映画「ローマの休日」の英語の脚本(多読レベル 2)を輪読します。第二次世界大戦後のイタリアを舞台にした恋愛もの(ロマンス)とされる映画ですが、実は世界最初の「観光映画」でもあるのです。次に海外から来た観光客に日本を興味深く紹介するNHKラジオのテキスト Enjoy Simple English の中の、江戸(東京)日本橋から京都三条大橋までの東海道五十三次を歩いて旅行する、現代のユーモアあふれる若い男女の会話で描いたエピソードを輪読します。レベルは、多読図書(英語)で例えるとレベル1程度です。これで、日本の地理、歴史、文化を学びます。その国の何が、海外からの観光客を呼びこめる観光資源になるかは、外国人の視点でものを見ることができるかどうかにかかっています。二冊を読むことで、そのような多角的な視点をどのように身につけるかを学びます。授業は基本的に輪読・ディスカッションです。 卒論につながるテーマを決めて、論文の基本を順序立てて学んでいきます。 次は、個人の学習活動です。 1. 一年次にやっていた英語の多読をします。理解し、まとめる練習をします。レベルは問いません。 2. 新聞投稿欄への投稿を行います。考えるトレーニングです。わかりやすい文章を書くことができる力は、一生の宝です。 3. 新聞の社説等を写す、あるいは要約します。手書きすることで、書くことに抵抗がなくなり、一般常識が身につき、就職活動にもつながります。 以上の個人の課題を確認しながら進めます。								
学生が達成すべき行動目標	「専門演習1」での学習を発展させ、学生各自が問題意識や研究テーマをできるだけ明確にしながら、その内容についての発表・討論をすることができる。さらに4年次の「卒業研究」を念頭に置きながら研究計画を立案できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	25	25	25	25	100		
知識・理解 (DP1-1)			12				12		
知識・理解 (DP1-2)				12			12		
知識・理解 (DP1-3)					12		12		
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)			13				13		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)					13		13		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)				13			13		
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)					13		13		
技能・表現 (DP5-2)						12	12		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					

論文作成の基本マナーを体得しており、4年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。		論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭および論文で述べる能力を習得できている。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1～30回のすべてのテーマ・講義内容については、第1回目の授業で担当者によって説明されます。学科共通研究行事として、キャリアをテーマにした授業があります。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	2 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。			
テキスト	担当者により、説明がされます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1. 知へのステップ 2. よくわかる卒論の書き方 3. 図書館の朝日新聞のデータベース / JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン (学内のみで閲覧可) 4. 担当者により説明されます。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心をもっていることが大事です。知識の枠組みを広げることが基本です。			
達成度評価に関するコメント	4 年次には、無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。			